

◆『3・4年生 New Zealand 語学研修』

4年生は、6/6～15の期間、NZで8つの学校に分かれ、語学研修を行いました。学校ごとにどのようなことを学ぶことができたのか、生徒に聞いてみました。

Rolleston College

今回私は Rolleston College に行きました。校舎がとても広く、ジムやキッチンカーなど学校とは思えないほど設備が充実していました。現地校の優しくフレンドリーな生徒とバディを組めたので、会話も弾み、授業も楽しく受けられました。授業の間に軽食の時間があつたり、ホームルームの教室がなかったりと日本との違いに驚きましたが、学習者像と似たものがあったり、常にパソコンを使ったりする点は MOIS と同じでした。語学研修を通して学んだことは“聞き返すことの大切さ”です。聞き取れなかった質問に YES と答えた結果、自分が望まない方向に話が進みそうになった時にこれを実感しました。自分の英語が通じたことは自信になったので、この研修で感じたことを今後の学校生活や来年のアメリカでの研修に活かしていきたいです。



Oxford Area School

私たちが行った Oxford Area School は、都市部からは少し離れていますが自然の綺麗な Oxford 地区にあり、私たちと同年代の生徒から幼稚園児くらいの生徒も通っている大きな学校でした。私たちは理科や家庭科等の授業に参加し、理科の授業では MOIS でも学習したような化学の実験をしたり、家庭科の時間には NZ の家庭でよく作られるクッキーを作ったりして有意義な時間を過ごすことができました。午前の 20 分間の休み時間に外でスポーツをしたり軽い食事をしたりと、日本の学校とは違う、自由な雰囲気印象的でした！ 私は今回の研修で、日本とは全く違う文化と深く触れ合うことがで

きたと思います。MOIS に帰ってからもその経験を活かし、よりリアルな視点から世界を学んでいきたいと思いました！

Christchurch Girls School

私は、クライストチャーチの都市部にあるガールズスクールに行きました。モーニングティーやドラマの授業など、MOIS にはない教科や生活スタイルを現地の女子生徒と一緒に経験して、コミュニケーションをとったことが、とても新鮮な体験で学校生活の中で特に印象に残っています。NZ の生徒さんはもちろん、NZ に留学しているアジアの生徒さんとは週末と一緒にシティに遊びに行くなど、国を超えて仲良くできる友達が初めて出来たことが今回の一番の思い出です。NZ の方達はだれに対しても親切でフレンドリーで、ホストファミリーにもとても親切にして頂き、毎日楽しい生活が送れたのでとても感謝しています。いつかもう一度行きたいと思いました！！

Lincoln High School

Lincoln High School は空港のあるクライストチャーチから遠く離れており、敷地が広くのどかな

雰囲気の学校でした。授業は私たちのために用意してくれた特別な内容のものが多く、マオリ文化を体験したり、英語の歌を歌って踊ったり、野菜の種を植えたり、森みたいなところを探検したり、ハンバーガーを作ったり…色々しました。現地の学生はみんな優しく、日本語を勉強している子と日本語で喋れたのは嬉しかったです。今までの MOIS の授業のおかげである程度の会話はできましたが、現地の学生同士の雑談などは話すスピードが速くてほとんど理解できませんでした。今後また海外の人と関わる機会があると思うので、今まで以上に英語を頑張りたいと思いました。

3年生は4年生が帰ってきた後、6/18~27の期間でNZ語学研修を行いました。

Mt. Hutt College

Mount Hutt college は Mt Hutt の麓 Methven にある自然豊かな学校です。学校では自然を活用するエネルギーについて調べ、太陽光を活用した温水プールやジェットボードを活用した川下りなど日本ではなかなか体験できないことを、自然を通して学びました。金曜日には生徒主体のマーケットが開催され、ホットチョコレートなど温かくおいしい飲み物を用意させていただきました。ここの生徒は明るく話しかけてくれます。ぜひ挨拶を求められたとき、話しかけられたときは笑顔で返して下さい。この語学研修を通して世界は広いということを実感しコミュニケーションは世界共通で取れ、会話は人を笑顔にすると知りました。これからも多くの人とコミュニケーションをとっていきたいです。



Kaiapoi High School

私は Kaiapoi High School という学校に行きました。MOIS と比べて緑が多く、自然豊かな素敵な場所でした。ストライキがあった関係で授業はあまり受けられなかったのですが、日本よりも自由で、同じ教室内で2グループが授業していることもあったのが印象的でした。この語学研修を通して現地の初対面の方々と話し、コミュニケーション能力の大切さを改めて学びました。ですが、ニュージーランドの方々はみんなフレンドリーで優しく接してくれたので、交流ができて良かったです。

日本ではできないような有意義な経験を数多くさせてもらえて、とても楽しい10日間になりました！



Ellesmere College

今回僕は Ellesmere College という学校へ行き養蜂についての学習を英語で行いました。Ellesmere College は Leeston という自然豊かな比較的小さな町にある 600 名ほどの学校です。校舎はすべて一階建てとなっており、その分多くの敷地にいくつもの校舎があるような造りになっていて MOIS とは違うところが新鮮でした。現地校の生徒の皆さんは日本語の学習もしているようですね。違っていると「こんにちは」と話しかけてくれるフレンドリーな人たちで、一緒に学習を行う現地のバディの人も簡単な英語で話してくれたり、僕の英語を何度も理解してくれたりしようとしてくれました。実際に英語で意思疎通ができていると今までの MOIS での学習が生かされていると実感しうれしかったです。これからはよりスムーズに英語でコミュニケーションが取れるように MOIS での学習を頑張りたいと思います。

Aidanfield Christian School

Aidanfield Christian School はクリスチャーの学校で、幼稚園生から中学生まで幅広い人たちが通っている学校です。今回私たちは、中学生

の実際の授業に参加するほか、クライストチャーチ中心部の観光を行ったりニュージーランドの学校と日本の学校の文化の違いを学ぶことができます。学校の仕組みや宗教などによる考え方の違いなど、日本とは違うところがたくさんあり、それぞれの国の学校のメリットデメリットを見つけることができました。ホストファミリーへの Afternoon Tea を作ったりしました。また最終日には、「文化」についての掲示物を現地の生徒とのディスカッションを通して作成しました。現地校の生徒はとても親切で、中には日本語が話せる生徒もいました。今回経験したことを生かして学習につなげていきたいです。

◆『Pittsburgh 海外フィールドワーク』

5年生は6/17~25の期間でPittsburgh 海外フィールドワークに参加しました。
MOISでは体験できないような、様々なワークショップがあり、充実したフィールドワークになりました。



Duquesne University

I visited Duquesne University, placed nearby two rivers and many skyscrapers making the view really beautiful. I joined in fashion camp and I made a bag connected to a theme inspired by artworks. Also, I did a fashion show with designers and my friends. During that time, I could apply what I learned in MOIS. American friends shared their feeling and ideas quickly and discuss freely. From this, I realized that's important to find new things.



Robert Morris University

RMU had a huge premise and facilities, there were multiple kinds of buildings and gardens you can actually use it whenever you like. In the 3D printing course which I joined, each person was very impressive with their own personality. The vibe was actually similar to MOIS: the relationship between students, teachers and others were friendly. Through the course, we learned how to create an object in real life using an application. It was full of fun printing our own faces and arms.

Chatham University

I participated in Sustainability Leadership Academy at Chatham University. The campus was huge and surrounded by nature; I saw a lot of animals there. I did many activities with Japanese friends and friendly American students, and the classes were more flexible than Japanese ones. I learned different cultures and ways to create a sustainable world. This experience helped me to gain new perspective which relates to globalized society. I want to participate again!



その他、現地での様子
の写真はInstagram
に掲載されています
ので、ぜひご覧ください。



IB コーディネータ: Brad Semans

Global Issues in IB Education

One of the hallmarks of IB education is that it does not shy away from controversial issues that often make some adults squirm. But why is that? What kinds of topics might be considered global issues? And where might we find these in the MOIS MYP, DP, Liberal Arts, and STEM course curriculum?

To begin, we must start with the school's mission statement. At the core of MOIS and IB education is the goal of making the world a more peaceful and overall better place. Without addressing these issues, it is unlikely that young people will be prepared to take action to address them. Of course, these issues still need to be appropriate to students' development. The Diploma Programme defines global issues as having significance on a wide scale, being transnational, and impacting everyday local contexts. Some of the topics that come to mind include societal problems such as racial discrimination, inequality and poverty. Other broader topics include religion and politics, neither of which are common in many Japanese classrooms.

In the LA and EI curriculum, students engage with the topics of adult dominance over young people, interracial relationships, and religious fundamentalism. These topics are taught through the reading of literary works in the 3rd and 4th grades. Outside of class, an example of students engaging with global issues is students holding workshops and giving speeches on LGBTQ rights and issues faced by the LGBTQ community here in Japan. The Rainbow Club is a student organization that welcomes all students to cooperate to make the school environment welcoming and safe for all.

For students and parents, addressing global issues head on with understanding is an important step to meeting our school's mission statement.

IB 教育の特徴のひとつは、大人が首をかしげるような論争的な話題から逃げないということです。それはなぜなのでしょう?どのようなトピックがglobal issue と言えるのでしょうか?そして、MOIS の MYP、DP、LA (Liberal Arts コース)、STEM コースのカリキュラムのどこにそれらがあるのでしょうか。

まず、学校の使命から始めなければなりません。MOIS と IB 教育の中核には、世界をより平和でより良くしていくという目標があります。これらの課題に取り組まなければ、生徒が成長してその問題に対処するための行動を起こす準備ができとは思えません。もちろん、これらの問題は、生徒の発達に適したものである必要があります。ディプロマ・プログラムでは、グローバルな問題とは、広い範囲で重要な意味を持ち、国境を越えたものであり、日常生活に影響を及ぼすものと定義しています。例えば、人種差別、不平等、貧困といった社会的な課題が思い浮かびます。また、宗教や政治など、日本の教室ではあまりなじみのないテーマもあります。

LA と EI のカリキュラムでは、生徒は子供・若者に対する大人の支配、異人種間関係、宗教原理主義といったテーマに取り組みます。これらのトピックは、3年生と4年生で読み物を通して触れています。また、授業以外でも、生徒は Global issue に触れており、例えば、LGBTQ の権利やここ、日本の LGBTQ コミュニティが持っている課題について、ワークショップを開いたり、スピーチを行ったりしています。生徒が立ち上げた「レインボークラブ」は、すべての生徒が歓迎され、安全な学校環境にするために協力する生徒団体です。生徒や保護者にとって、global issue に理解を持って正面から取り組むことは、本校のミッションステートメントを達成するための重要なステップとなります。

TOPIC : いじめ防止強化月間

生徒指導部長:福島 知明

さいたま市では、毎年6月を「いじめ防止強化月間」とし、学校でいじめ防止に向けた取り組みを行うこととなっています。MOISでも、6月1日の朝礼での校長・生徒指導主任からの講話や、「いじめ防止基本方針」の説明を皮切りに、各委員会やHR代表のメンバーでの「生徒いじめ防止委員会」の開催、各委員会やHRでの活動などが行われました。

各委員会では、いじめの防止のためのポスターを作成して掲示したり、昼食の時間に放送を実施したり、友達関係に関する図書の特集を行ったりするなど、各委員会が自分たちの活動分野からどのようにいじめ防止に関わっていくかを考えた取り組みを行っていました。

各HRでは、HR委員を中心に、いじめ撲滅のためのスローガンを作成し、ポスターとともに掲示しました。5年生はWell-Beingと関連させて自分の人生のあり方と合わせて考えるなど、各学年で方法を工夫しながら実施していました。

今後は、生徒会執行部を中心に「さいたま市子ども会議」や「いじめ防止シンポジウム」への参加などを通して、いじめのない学校づくりに取り組んでいきます。

学校としては、HPにも掲載している「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ防止委員会」や「いじめ対策委員会」を組織して、外部の機関の協力も得ながら、学校全体として対応していきます。



1学年「初めての“Service as Action”」

1学年担当:松山 侑紀

3G Project “Service as Action(SA)” 発表会が行われました。5月から各班で取り組んできたSA活動をポスターにまとめ、発表しました。テーマの一部を紹介します。「学校の地図を見やすくしよう」、「バスのマナーを守るためには」、「体育館の下駄箱の混雑をなくすには」、「落ちていた枝でecoリースづくり」、「古墳をきれいにしてお心を持ってもらおう」etc... 活動内容だけでなく、計画→行動→振り返りのサイクルや、活動を通して得たスキルについてわかりやすく伝えようとする姿が印象的でした。発表を聞いた側も、質問をしたり、シールを貼って感想を伝えたりして、ほかの班が取り組んだ活動についても知ることで視野を広げていました。その後、学年全体で行った振り返りでは、『ボランティアは今まであまりしたことがなかったけど、やってみるうちに楽しいということに気づいた』という感想も出していました。発表会を終えて、海外研修中の学年の清掃区域を放課後に清掃するという新しいSA活動に取り組んでいる生徒もいます。今回の3Gで養った“よりよい世界を築こうとする視点”が今後、さまざまなSA活動につながっていくよう働きかけていきたいと思います。



2学年「整理整頓」

2学年担当:山下 紘輝

上級生が海外へ語学研修やフィールドワークに行っているなかで、2年生は通常通りの学校生活を過ごしていました。6月に2学年全体でDRを行う機会がありました。そのなかで、「整理整頓」をキーワードのひとつとして、学校生活をよりよいものにしていくことが重要であることを共有しました。これらのキーワードをふまえて、よりよい学校生活を過ごすためにはどのように行動をしていくのが理想的なのか、生徒それぞれが主体的に考えながら生活することができています。

とくに、「整理整頓」のキーワードを意識することの成果が発揮されたと感じたのが、LDTの時間です。自分自身が取り組む課題や学習内容を整理して取り組むことは、ほかの活動にも転移させることのできる力だと思います。学年全体を通して、そうした姿勢が継続できるようにしていくとともに、日常生活においても自分自身で「整理整頓」をふまえた行動ができるように促していく所存です。ご家庭でもよき変化や成長に気づいた際には、ぜひ声をかけていただければと思います。



科学の総括的評価課題、数学の問題集を教えあいながら解く、レポート課題、様々な学習を行っています。

3学年「NZ 語学研修を終えて」

3学年担当:神山 裕章

先月の体育祭に続き、6月は3学年のメインイベントであるNZ語学研修がありました。初めての海外研修ということで、出発前には大きな期待とともに緊張している様子も見受けられましたが、現地では日頃のMOISでの学習成果を発揮して、積極的に研修に取り組む姿が見られたと聞きました。現地校での諸活動や、ホームステイでの体験は、生徒たちの目を世界にひらかせるのに十分な効果があったようです。大きな成果と成長をひっさげて帰ってきた生徒たちの今後の活躍に期待しています。保護者のみなさまには多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。



初めての体育祭

初めての海外研修



4年次「行事を重ねて」

4年次担当:戸所 良介

皆さんは「なぜ学校行事はあるのだろうか?」と思ったことはありませんか。最近、電車に乗っていた際に、同じ車両に乗り合わせた中学生が話していたのを耳にしました。本校では様々な探究活動がありますが、このことについて考えたことはあるでしょうか。学習指導要領には以下に記されています。「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」です。先月行われた初の体育祭。当日は大変盛り上がりました。私も授業では見せない生徒の表情、意欲的態度を見ることができ、「体育祭やってよかったあ」と思っています。また、中には何とも言えない達成感をもった生徒もおりました。また、先日まで行っていたニュージーランド語学研修。私は引率できませんでしたが、帰国した生徒の感想を聞くと「楽しかった。」「自国の文化との相違を肌で体感できた。」「ホストファミリーとの別れが寂しかった」など様々な感想があり、学年という集団の中で「自分」というものをしっかりと成長させていると感心しました。行事とは、生徒の様子、態度、意欲が良い方向へと変化する大切なものです。これからも卒業まである様々な行事を通じて、生徒一人一人の成長を期待しています。



体育祭



NZ 語学研修

5年次「外の世界で本物にふれる」

5年次担当:北川 嘉則

6月は生徒にとって前期最大の行事となる、アメリカ・ペンシルベニア州ピッツバーグでの海外フィールドワークをおこないました。生徒はロバートモリス・デュケイン・チャタム各大学で開かれているサマーキャンプに現地の高校生らとともに参加しました。準備の段階では、入学以来初めて最後の国際研修ということもあり、生徒は期待感と同時に、緊張や不安、さみしさなど様々な思いを持っているようでしたが、現地ではこれまで本校で身につけた英語力や活動を通して得た経験を生かして、それぞれのアクティビティに取り組んでいました。また、フィールドワークに参加しなかった生徒もそれぞれの目標を立てて、それぞれの場所で一生懸命活動していました。保護者の皆さまにおかれましても、書類の準備等、様々にご協力いただきありがとうございました。学年団としては、この経験を「良い思い出」にするだけでなく、本校から広い世界へ飛び立つための原動力に変えてほしいと考えています。ご家庭でも本人たちの変化や成長に気づいた際には、ぜひ声をかけていただければと思います。



いじめ防止教強化月間の一環として Well-Being について考えました。



サマーキャンプ参加の様子です。

